

✧ 海外ニュース ✧

ドイツ 2015年5月6日 Spiegel オンライン版

■ 自律走行トラックに乗って：オートパイロットによる輸送

Unterwegs im selbstfahrenden Lkw : Autopilot auf Achse

自分で自分を運転するトラック……まるで未来の出来事のような実験を、現在、ダイムラー社が米国の道路上で実施している。たしかに運転者以外の者にとっては、それは感嘆に値する体験だ。

これと同時にメーカーは新たな職業像を描き始めている。トラック運転手は「輸送マネージャー」へと変身し、今まで事務所の働き手が担当してきたような仕事を引き受けることになるという。

ドイツ 2015年5月6日 Verkehrs Rundschau オンライン版

■ インフラ会社の活用を期待をかける交通政治

Verkehrspolitik setzt auf Infrastrukturgesellschaft

連邦幹線道路をインフラ会社に委ねるというアイデアが、幅広い支持を得ている。新しい連邦道路計画においては、政府は優先順位を厳密に捉え、遵守する意向だ。

ドイツ (ノルウェー) 2015年5月7日 Spiegel オンライン版

■ 特権の廃止：ノルウェー、振興策が上手くいきすぎ、電気自動車助成の制限へ

Abschaffung von Privilegien : Zu erfolgreich - Norwegen kappt Förderung für E-Mobile

ノルウェーは電気自動車の楽園とされている。世界中のどこにも、この国より電気自動車の割合が高い地域はない。しかしこの成功は国にとっては助成金という高い代償が伴うものだった。このたび同国の政権は助成の程度を弱めることにした。

ドイツ 2015年5月7日 Zeit オンライン版

■ 自動運転：カーナビと一緒に操縦を

Autonomes Fahren : Das Navi lenkt mit

カーナビ業界で大きな影響力をもつ Garmin, TomTom あるいは Nokia Here などは、代替ルートの提案も加えた渋滞警報や現地の気象情報などを提供しており、今後これらの自律走行車を制御しているアルゴリズムにも処理させる。たとえばコンチネンタル社とノキア社の間など、下請け業者間で新たな連携関係が生じている。

フランス 2015年5月13日 ASFA

■ 高速道路作業員の安全に関する総括：2014年死亡事故が発生

Sécurité des personnels en intervention : Le bilan humain reste lourd en 2014

2014年も2013年と同様、高速道路作業員1名が命を落とし、作業員を取り巻く状況は依然として厳しい。2002年以降、高速道路では22名の作業員が死亡している。

ドイツ 2015年5月14日 Spiegel オンライン版

■ 蒸し暑いメガシティには、暑さ対策ができ、しかも低価格な電動タクシーを

E-Taxi für schwüle Megacities : Ohne Schweiß, billiger Preis

このEVAという名称のタクシーは、開発者の発表によれば満充電状態で約200kmの走行が可能という。この点だけでも相当な性能と評価できるのだが、驚嘆すべきなのは新たに開発された急速充電システムである。このシステムでは15分という短時間、たとえばドライバーがコーヒーを1杯飲んだりサンドイッチをつまんだりしている間に、再充電が完了するのだ。

フランス 2015年5月18日 APRR

■ オートバイを乗るときにはエアバッグを着用しよう

Deux-roues, gardez un airbag sur vous

オートバイ運転者が衝突や事故の際に被るけがは、胸部、腹部、脊柱に集中している。オートバイ専用のエアバッグを利用すると、運転者の胴部が効果的に保護され損傷が大きく軽減される。

ドイツ 2015年5月18日 Zeit オンライン版

■ 高齢者：年齢を重ねても自分で運転

Senioren Unterwegs am Steuer, bis ins hohe Alter

国境を接している他のヨーロッパ諸国から、運転適性テストの義務化に関する議論が時折、巻き起こる。しかし欧州連合に加盟している28カ国自体、コンセプトはそれぞれ異なっている。大多数のEU加盟国は年齢による何らかの制約を設けているが、その内容はさまざまである。イギリスでは、健康状態の自己申告で十分だが、イタリアおよびポルトガルでは50歳以上は健康状態の証明書が必要とされる。他のEU加盟国では、このような証明書は60歳あるいは65歳または70歳から必要になる。

フランス 2015年5月19日 sanef

■ 高速A16号線 ソンム県の主導の下、5月21日の夜間、フリクスールIC(21番)とアブヴィル東IC(22番)間を通行止めにし、多数の犠牲者を想定した救助訓練を実施

A16 A l'initiative de la Préfecture de la Somme, l'autoroute A16 est fermée entre Flixecourt n21 et Abbeville Est n22 la nuit du 21 mai pour réaliser un exercice de plan de secours avec de nombreuses victimes

安全確保と犠牲者の救助は、高速道路に出動する関係者全員の最優先事項だ。多数の犠牲者を想定する「赤プラン」と名付けられた訓練の実施は、万人の安全を守る一助となる。また、すべての関係組織の作業プロセスを試験することは、実際の状況において自動化されているシステムが、救助作業を迅速かつ効果的に進めるものであるかどうかを確認することを意味する。

フランス 2015年5月22日 Goodplanet

■ 高速道路：相乗り車の通行料金割引へ

Autoroutes : vers un tarif réduit pour le covoiturage

国民議会(下院)は木曜日、温室効果ガス排出量が極めて少ない車と相乗りを行っている車に対し、コンセッション契約の再交渉や更新の動きとは別に、政府による法律の修正を通して高速道路の定期通行料金を割引くことを可決した。

ドイツ 2015年5月22日 Verkehrsrundschau オンライン版

■ アンケート：交通インフラへの評価が低下傾向に

Umfrage : Verkehrsinfrastruktur wird schlechter bewertet

ドイツ国民の間では、過去の年月において国の交通インフラへの投資が不足していた、という見解が徐々に広がってきている。回答の2/3は投資が不十分という見方をしており、十分と感じている回答者の割合はわずか18%であった。

比較的大規模な措置が不可欠という意見は、2011年と2013年の調査では2回とも約1/3に過ぎなかったが、今回のアンケートでは半数を越している。インフラ拡充のために、これまで以上に民間のパートナーや資本を活用していくという官民協働に対する評価は、控えめなものであった。

ドイツ 2015年5月22日 Zeit オンライン版

■ 電気自動車：走行しながら充電する高速車

Elektroautos : Dieser Flitzer tankt Strom im Fahren

フラウンホーファー製造技術・応用材料工学研究所 (IFAM) が、走行中に充電をする電動スポーツカーを開発した。その秘密は「非接触誘導充電」にある。

エムスラントのラーテンにある全長 25 m の試験走行区間にはコイルが敷設されており、自動車が路面を走行すると、その数ミリ / 秒という瞬間にのみスイッチが入り、その後はまたオフになる。いってみれば道路によって生成される磁場が車両とともに移動することになるので、精密に機能するコミュニケーションソフトと制御ソフトも必要になる。

ドイツ 2015年5月25日 Welt オンライン版

■ 民間投資家：ドブリント連邦交通相、道路網に「政府・ドライバー・投資家が共に得をする」計画を立案中

Private Investoren : Dobrindts "Win-win-win" -Plan für das Straßennetz

ドブリント連邦交通相は、保険業界や基金等から遠距離道路用の資金を最大 140 億ユーロ集めたい考えを示している。交通相の狙いは、建設プロジェクトの工期を短縮することだけではない。

この資金収集計画は、連邦が遠距離道路プロジェクトに行使できる影響力の拡大にも役立つのだ。これまでのところ、こうしたプロジェクトを決議するのは連邦であり、その建設や運営は諸州の管轄であった。

ドイツ 2015年5月28日 Zeit オンライン版

■ ネットワーク化された自動車：医師が同乗しているのと同じ機能

Vernetztes Auto : Der Arzt fährt mit

高齢ドライバーに対する健康診断の義務化案が出ているが、現在、自動車メーカーが開発中のシステムが実用化されると、そのような必要はなくなる。センサーがドライバーの健康状態を常にチェックするようになるからだ。

いずれにせよ、この計画中の管理システムを導入するにあたっては、前提条件のひとつとしてデータ保護とデータの安全性を確保することが最重要である。

これと並行してフォルクスワーゲンと BMW の開発者は、ドライバーが運転を続行することができない状態に陥った場合に、自動的に補佐する方法を考案中だ。

ドイツ 2015年5月29日 連邦交通省

■ ドブリント連邦交通相による新世代の官民協働プロジェクト、始動

Dobrindt startet Neue Generation ÖPP

最初のプロジェクトはブランデンブルク州のアウトバーン 10 号線および 24 号線。

このプロジェクトは利用可能性方式に則って実現される。つまり受注者への報酬を、アウトバーン区間の利用可能性に応じて決める利用者志向の形をとる。工事現場によって通行止めになる車線や速度制限などで、利用に支障が生じた場合は、月々の報酬がこれに応じて削減される。

ドイツ 2015年5月30日 Zeit オンライン版

■ 欧州委員会：EU、乗用車課金に対して法的手段をとる

Europäische Kommission : EU geht rechtlich gegen Pkw-Maut vor

乗用車課金は、欧州委員会のみるところ EU 法に抵触している。このため委員会はこの数週間のうちに、ドイツに対して条約侵害手続を開始する意向である。

委員会付きの報道担当官は、この法的措置についてのコメントを控えたが、差別待遇の撤廃原則を尊重する EU の姿勢を強調した。